

Ⅲ 県外観光客動態調査

1 概要

●はじめに

調査精度の均一化を図ることや調査結果に対する分析を行うことを目的として、平成19年の調査から観光関連業務経験を持つ委託事業者の調査員（3名）による対面聞き取り方式のアンケート調査を採用し、あわせて調査箇所についても見直しを行い、10地区から8地区（モネの庭、中津溪谷を廃止し、室戸岬、龍河洞、ゆとりすとパークおおとよ・道の駅大杉、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十観光開発 観光遊覧乗場、足摺岬）に変更した。調査日は昨年同様、土曜・日曜・祝日・GW・夏の盆時期、正月時期に行った。

とりまとめにあたっては、アンケート調査に基づく全般的な傾向等について記載するとともに、それぞれの調査項目について、その特徴的な事項の説明を加えた。また、別記として観光客のコメント（抜粋）を記載することにより、特徴的な意見のとりまとめを行った。

なお、暦年の調査のため、参考資料は冬春夏秋の順に表示している。

●家族旅行が多い高知県

本県への旅行傾向を見ていくと、家族旅行が年々増えている。（H18：49%、H19：59%、H20：66%）これは、豊かな自然や食への評価、アンパンマンミュージアムに代表される施設など家族で楽しむツールが整っていることが要因だと考えられる。

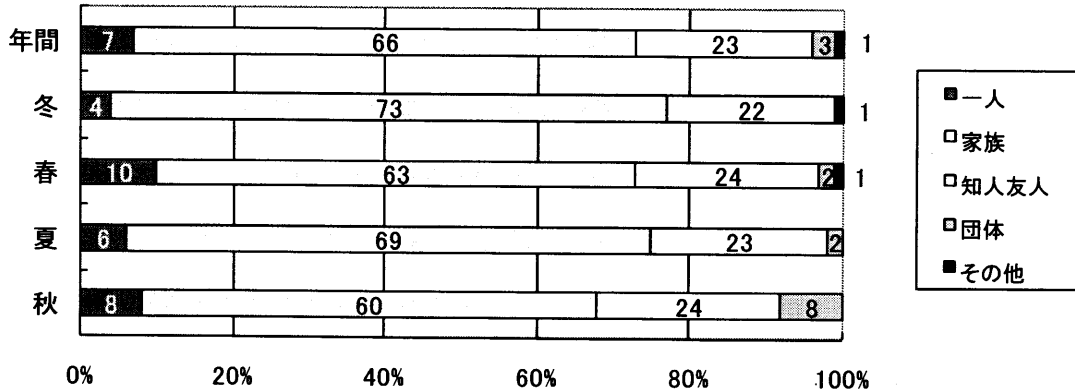
若者層の旅行者は、特定の目的（バイク・ツーリング、サーフィンやカヌー、キャンプなどアウトドア系、遍路）を持った旅行が多いことが特徴といえる。本県を訪れたきっかけは、旅行雑誌やアウトドア雑誌などの情報よりも、「知人や友人」による口コミ情報や、同じ趣味を持つ人の「ブログ」を参考にしているという声があった。

また、昨年との比較をすると、平均旅行日数が0.1日、旅行消費金額が1,700円弱増えており、さらにもう一日高知旅行を楽しんで頂く仕組みづくりが必要である。

【参考1】四季別旅行形態割合 (%)

形態 時期	一人	家族	知人友人	団体	その他
冬	4	73	22	0	1
春	10	63	24	2	1
夏	6	69	23	2	0
秋	8	60	24	8	0
年間	7	66	23	3	1

【参考1】四季別旅行形態割合 (%)



●観光客の四季別傾向

- 冬：冬の12月30日～1月3日は観光客が多く、その前後（特に年末）は少なかった。正月前後は、帰省も含めて家族旅行が多かった。
- 春：GW 期間は個人旅行が目立つ。バイクのツーリングや四国八十八ヶ所まわりが多かった。GW は観光客が四季を通じて一番多く、どの施設でも観光客の多さが目立った。ただ、GW 前半は後半と比べると観光客が少ないので、GW 前半へ観光客を誘導する工夫が必要である。
- 夏：よさこい、帰省、アウトドア（サーフィンやキャンプ）を目的に来た観光客が多く、高知の自然の豊かさを称える意見が多かった。
- 秋：龍河洞や桂浜、四万十川などで団体客が目立った。団体客は、旅行会社の四国内を周遊するツアーや、一泊二日の職場旅行、町内会やサークル仲間の日帰り旅行などである。

●新たな食の名物と知名度を上げていく方法

観光客のコメントで「食べ物がおいしい」という感想が多かった。特に、足摺のカツオを中心とした豪華な魚介類料理、天然ウナギに代表される四万十川料理、黒潮本陣のカツオのたたきなどが人気であった。黒潮本陣の場合はリピーターが多く、カツオのたたきを目的に高知へ来たという四国内の観光客が多かった。県東部ではクジラの印象が残っている人が多かった。

高知市内で宿泊した観光客からは、ひろめ市場は雰囲気がよく、料理がおいしいし、どの居酒屋でも料理がおいしいという声を良く聞いた。室戸では、食事場所として、「キラメッセ室戸」など道の駅が利用されているが、それ以外の

飲食店の情報をよく聞かれた。龍河洞でも飲食店の情報を知りたいという声が多かった。

一方で、観光客にとってカツオ、クジラなどの魚介類、皿鉢料理は有名だが、それ以外の名前が挙がってこないのが現状で、例えば清水サバや土佐ジロー料理、鍋焼きラーメンなど、高知の豊かな食をどのように発信していくかが課題である。

●高速道路の整備と高速道路料金の引下げ

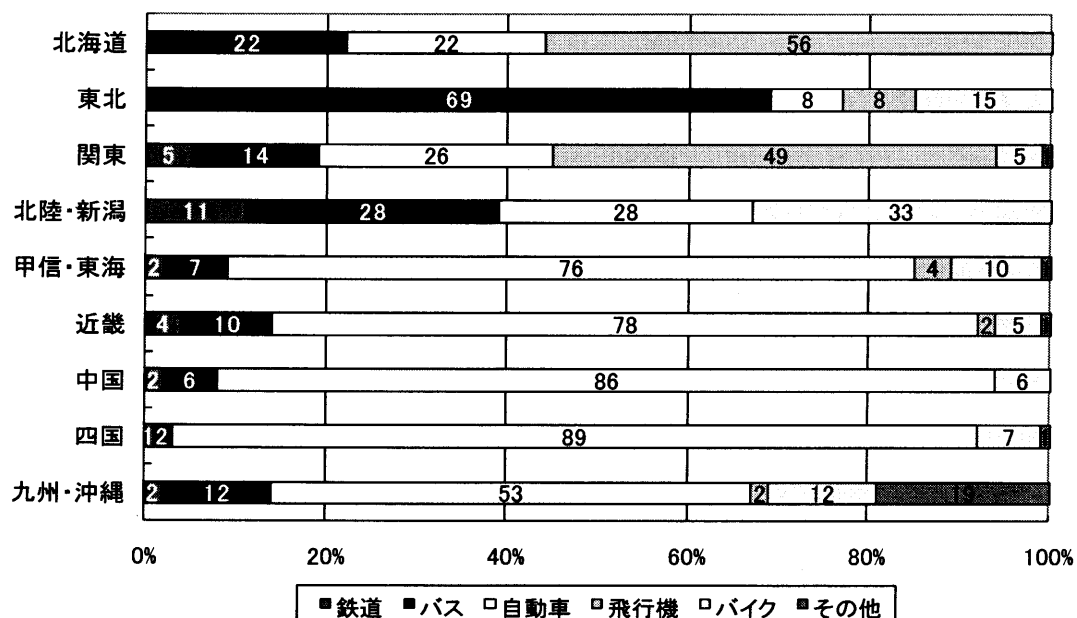
高速道路のアクセスの整備に伴い、本県に車で訪れる観光客は、中四国地方や近畿地方に加え、甲信・東海地方まで広がりを見せている。特に愛知県、岐阜県など東海ナンバーが目立った。

しかし、県西部の四万十川や足摺岬までは観光客も遠く感じるようで、「高速道路の延伸」を望む声があった。

東北・北陸などでバスの割合が高いのは、ツアー客と推測され、大阪・伊丹空港に飛行機で移動し、そこから団体バスで四国観光に向かうパターンと考えられる。九州からは宿毛佐伯フェリーの利用者が多く、東海方面からはバイクによるツーリングが多かった。

これまで、観光客から高速道路料金や瀬戸大橋、明石・淡路などの本四架橋の通行料金が安いという意見があったが、平成 21 年春から土日祝日の高速道路料金が引下げとなることから、中国、近畿などから大勢の観光客が訪れると予測されるため、受入れ態勢の整備や SA や PA を活用した積極的な PR などの検討が必要である。

【参考2】発地別入込交通機関別割合(%)



バス：観光・貸切・路線バス 自動車：自家用車・レンタカー その他：フェリー、自転車、徒歩など

●観光案内板の改善が見られた県内観光地

カーナビを取り付けている車が多く、主な観光地まではナビが誘導しているので、観光案内板については「あまり見ないのでわからない」という声が多くあった。一方、ナビを使わず案内板を利用している観光客の方からは、「わかりやすい」と「わかりづらい」の両方の意見がだされ、特に国道から離れた場所は、キメ細かい案内板が欲しいという意見があった。

この中で、南国 IC を降りてから、龍河洞、アンパンマンミュージアムなどに通じる国道 195 号までの案内は、共通のデザインの看板を使い、ひと目でわかるような工夫がされており、曲がり道のポイントにも看板があるのでスムーズに進むことができる。また、室戸岬の遊歩道の看板も新調され、旅行者に好評だった。

●平成 20 年の調査を振り返って

アンケートの際、観光客からは、飲食店、観光施設などの情報、坂本龍馬、中岡慎太郎など高知の偉人や歴史についての質問が多かった。また、NHK 大河ドラマ「龍馬伝」に期待する声が観光客からあり、関心の高さがうかがえた。

一年を通じたアンケートから、特に 12 月～2 月の冬場の時期にいかに観光客を誘致できるか、そのための仕組みづくりについて、関係者による検討が必要であると言える。

2 年代別入込割合

(表 3-1) 年代別観光客割合 (%)

年 代 \ 年	17年	18年	19年	20年	対前年比 20年/19年
10 代	3	3	2	2	100
20 代	24	23	21	23	110
30 代	23	24	26	28	108
40 代	16	16	18	19	106
50 代	19	20	20	17	85
60代以上	15	14	13	11	85

県外観光客動態調査では、アンケートはすべて対面で実施しており、1グループに1名(1回答)を徹底した。対前年度の比較では20代~40代が増え、50代以上の世代が少し減った。これは、30代、40代の家族旅行が増えているためと思われる。リピーターとなる世代だけに心強いデータといえる。

(表3-1-1) 年代別性別観光客割合(%)

	平成19年		平成20年	
	男性	女性	男性	女性
10 代	69	31	52	48
20 代	54	46	58	42
30 代	62	38	61	39
40 代	67	33	74	26
50 代	65	35	68	32
60代以上	75	25	76	24
全 体	64	36	65	35

3 日帰り客と宿泊客割合

(表 3-2) 年次別日帰り客・宿泊客割合 (%)

年	宿泊数	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上
20年		28	44	18	5	2	3
19年		30	45	16	4	2	3
18年		28	47	17	4	2	2
17年		28	52	14	3	1	2
16年		26	43	20	6	2	3

(表 3-3) 四季別日帰り客・宿泊客割合 (%)

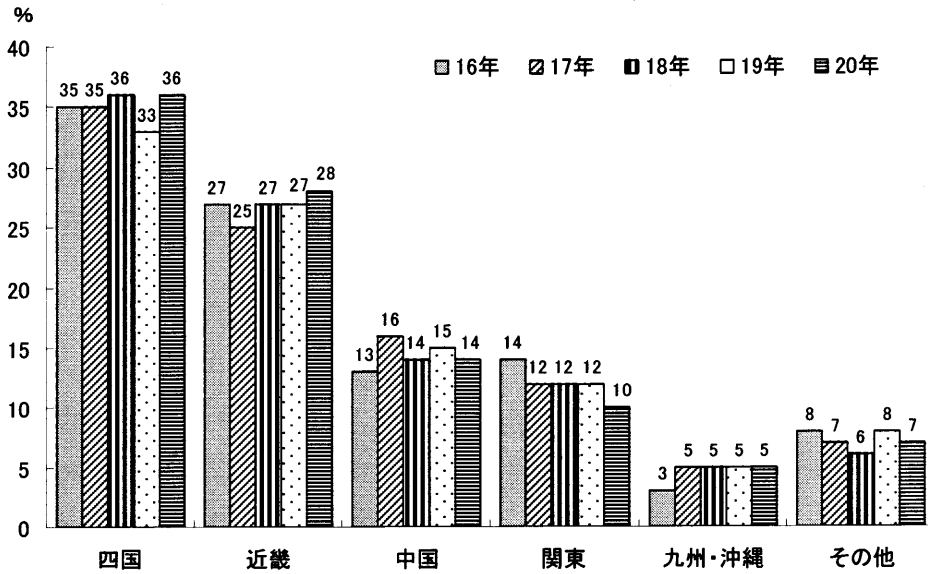
季節	年	宿泊数	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
冬	20年		28	37	20	6	4	5
	19年		28	47	17	4	2	2
春	20年		32	43	18	4	1	2
	19年		34	39	19	4	2	2
夏	20年		23	43	21	8	2	3
	19年		26	41	18	7	4	4
秋	20年		31	51	15	2	0	1
	19年		33	54	9	1	1	2

本県への観光日数の中心は日帰りと1泊2日で、合せると平成19年は75%、平成20年は72%と、ほぼ例年通りの割合といえる。その中でも平成20年の特徴は、2泊3日以上長期滞在の旅行が若干ではあるが割合が増えている。これは、四国へ旅行に来た観光客が、高知市内で一泊、幡多で一泊、計二泊というように高知での宿泊を選んでくれる割合が増えたのではないかと考えられる。

家族旅行などの個人旅行や、旅行会社のツアーは別として、社員旅行は一泊二日、町内会旅行などは日帰りが多く、さらに「もう一泊してもらおう」ための工夫が必要と考えられる。

4 発地ブロック別入込

(図3-4) 発地ブロック別割合 (%)



(図3-4) 発地ブロック別

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	その他
16年	35	27	13	14	3	8
17年	35	25	16	12	5	7
18年	36	27	14	12	5	6
19年	33	27	15	12	5	8
20年	36	28	14	10	5	7

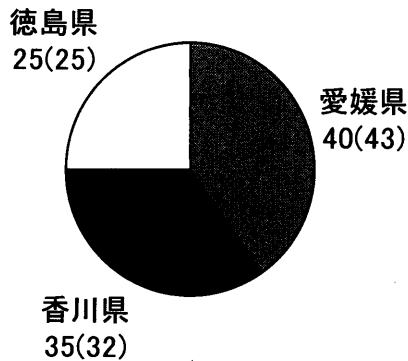
【参考】20年発地ブロック別その他の割合(%)

	北海道	東北	北陸・新潟	甲信・東海
20年	6	8	11	75

* その他7%の内訳を100%にて表示

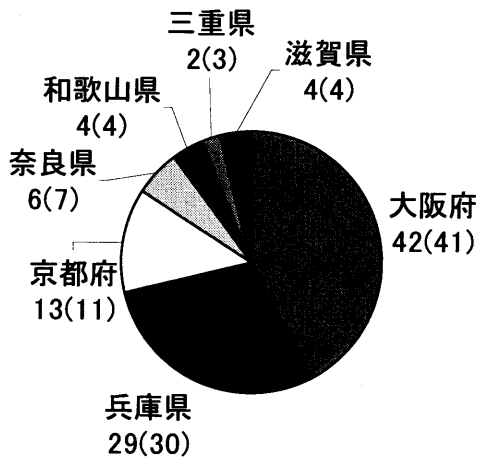
例年とほぼ変わらない数値だが、昨年との比較では四国、近畿の観光客の割合が増え、関東からの観光客が減っている。関東からの旅行は、旅行距離が長いこと交通費の負担が大きく、どうしても景気に左右されやすいと考えられるが、この5年間減少傾向にあり、圧倒的な人口を持つ地域だけに対策が必要と考えられる。また、高速道路が整備、充実したことに伴い、東海地方からの観光客も多くなっている。

(図 3-5-1) ブロック別・四国 (%)



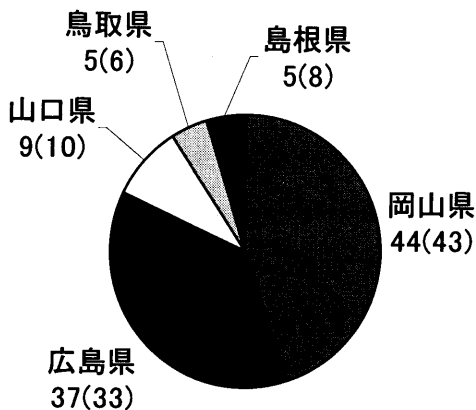
香川県からの観光客が増加し、愛媛県からの観光客が減少するという結果になった。しかし、割合では愛媛県が一番多く、土佐和紙工芸村、幡多地域（四万十川、足摺）などで目立った。香川県からの観光客は、黒潮本陣や龍河洞などが、徳島県からの観光客は、室戸岬や大豊町（ゆとりすとぱーくおとよ・道の駅大杉）の日帰り観光が多かった。

(図 3-5-2) ブロック別・近畿 (%)



昨年と比較して京都府からの観光客が増えたが、全体として、ほぼ同じ結果になった。図 3-4 発地ブロック別入込でも、近畿から割合が増加しており、高速道路が整備され行動範囲が広がり、四国（高知）が観光地として認識されてきた結果ではないかと考えられる。

(図 3-5-3) ブロック別・中国 (%)

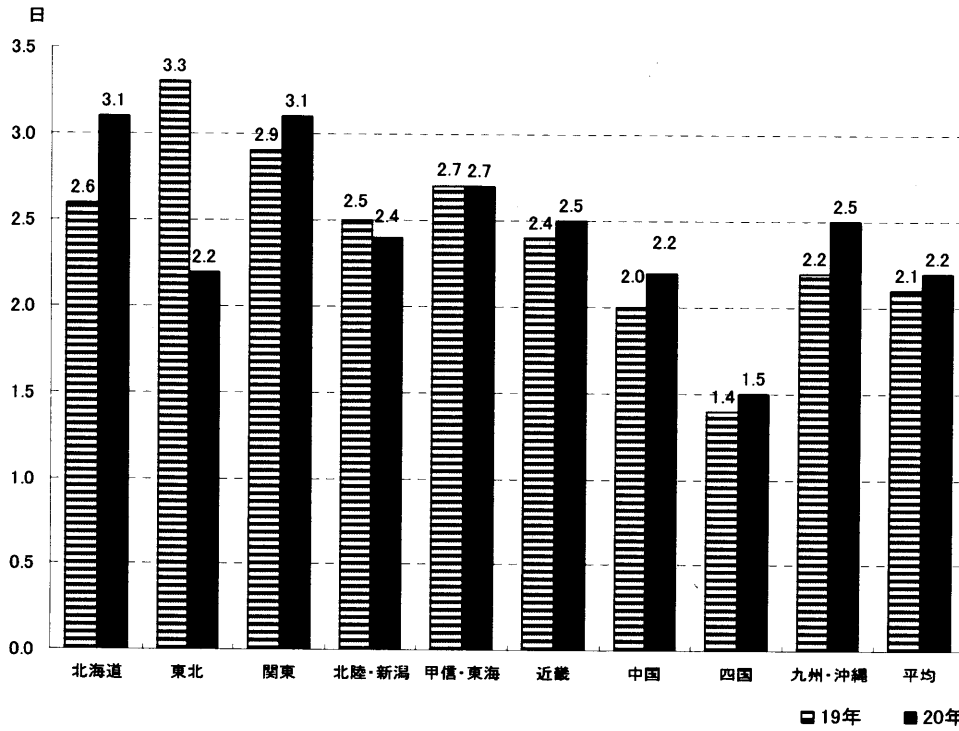


広島県からの観光客が増加し、日本海側の島根・鳥取県からの観光客が減少する結果となった。岡山県からの観光客は、桂浜、龍河洞、黒潮本陣などへの日帰りが多く、高知県内は日帰り圏になっており、一泊したくなる情報提供が必要と考えられる。

() は H19 年

5 旅行日数

(図3-6) 発地ブロック別県内旅行日数 (日)



前年と比べて旅行日数の数字が大きく増えたのは北海道と九州・沖縄だが、東北を除くどの地域もほぼ同数、または日数が増えている。特に四国、中国、近畿方面が平均して増えている。観光客からは食の美味しさへの評価や、高速道路の整備など交通アクセスが充実したという感想をよく聞いた。

(表 3-7) 年代別旅行日数(加重平均)

単位: 日

年次 年代	20年	19年	18年	17年	16年
10代	1.9	2.3	2.0	2.2	2.2
20代	2.1	2.2	2.1	2.0	2.2
30代	2.2	2.1	2.1	2.0	2.4
40代	2.4	2.1	2.1	2.0	2.3
50代	2.0	2.0	2.0	1.9	2.1
60代以上	2.1	2.1	2.0	2.1	2.3
全体	2.2	2.1	2.1	2.0	2.3

全体の平均は2.2日と昨年より少しアップした。平成16年の2.3日には及ばないが、ここ数年微増で推移している。10代、20代を中心に、旅行日数を伸ばすことが県内消費額にもつながるので、産業振興計画において「滞在型・体験型観光の推進」をテーマに戦略的に取り組む必要がある。

6 旅行目的

(表 3-8) 旅行形態別旅行目的割合 (%)

形態	目的	自然見物 ・町歩き	名所旧跡 観光施設	休養・慰安	食べ物	神仏・霊場 巡り	その他
1 人	20年	22	20	1	1	4	52
	19年	19	19	3	3	8	48
	18年	32	19	7	5	6	31
家 族	20年	23	32	6	11	4	24
	19年	23	28	6	8	5	30
	18年	25	23	15	5	6	26
友人・知人	20年	17	34	3	13	2	31
	19年	22	23	4	16	3	32
	18年	24	20	11	12	3	30
団 体	20年	19	34	31	4	2	10
	19年	16	33	21	2	1	27
	18年	17	35	23	3	2	20
そ の 他	20年	0	50	0	0	0	50
	19年	6	25	0	0	0	69
	18年	13	12	6	0	19	50
全 体	20年	21	31	6	11	3	28
	19年	22	26	6	9	5	32
	18年	25	22	13	7	5	28

【参考】旅行目的割合 全体のその他の内訳(%)

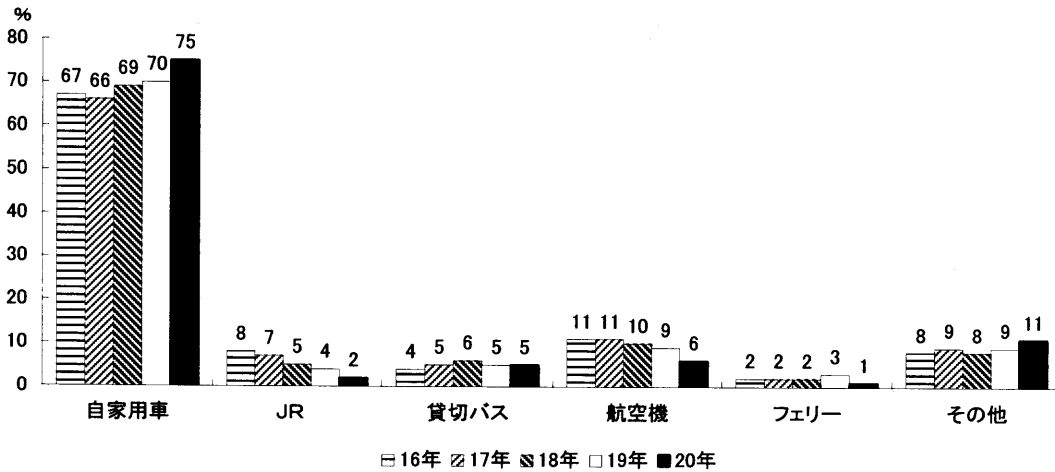
その他の旅行目的	イベント	スポーツ	買い物	キャンプ	なんとなく	掃省	その他
20年	4	2	2	12	36	38	7
19年	7	5	2	10	33	32	11

本県への旅行目的の特徴は、自然見物・町歩きや名所旧跡・観光施設が半数を占めていることである。目立った数字では、平成 20 年は、「名所旧跡・観光施設」の割合が全体で 5% 増え、友人・知人との旅行で 10% 以上、家族旅行でも 4% 増えている。

また、「食べ物」の割合が毎年増えてきており、高知の食べ物のおいしさが確実に評価され、浸透していると考えられる。調査員への質問も「施設周辺の飲食店 MAP」や「どの店がおすすめか」という内容が多く、関心の高さを感じた。アンケートの感想でも、カツオのタタキをはじめとした魚介類がおいしいという意見が多く寄せられた。

7 入込利用交通機関

(図3-9) 入込利用交通機関別割合の推移 (%)



入込利用交通機関は自動車での来県が圧倒的に多く、昨年比より5%も増加し、JRや航空機の入込利用が下がった。平成21年は、本州四国連絡橋の3ルートや高速道路料金の引下げが決まっており、一層、自動車での来県が予想される。

また、東海地方や九州などからの自動車利用による観光の範囲が四国（高知）まで広がっており、観光客の増加が見込まれることから、高知県の観光をPRする場所や方法（メディアの使い方を含める）を考慮した対策が必要である。

受入れ側の施設（宿泊施設、観光施設、観光協会など）は、運転者にとって必要な観光地案内板の設置、駐車場やガソリンスタンドMAPなど、キメ細かい情報を提供していく必要がある。

8 旅行形態

(表 3-10) 年代別旅行形態別割合(%)

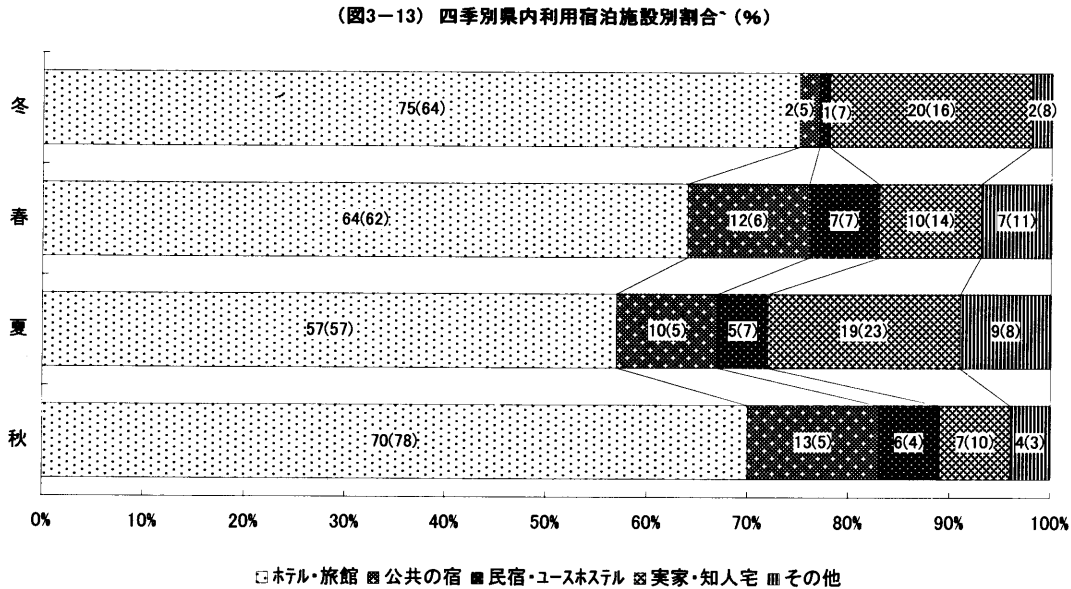
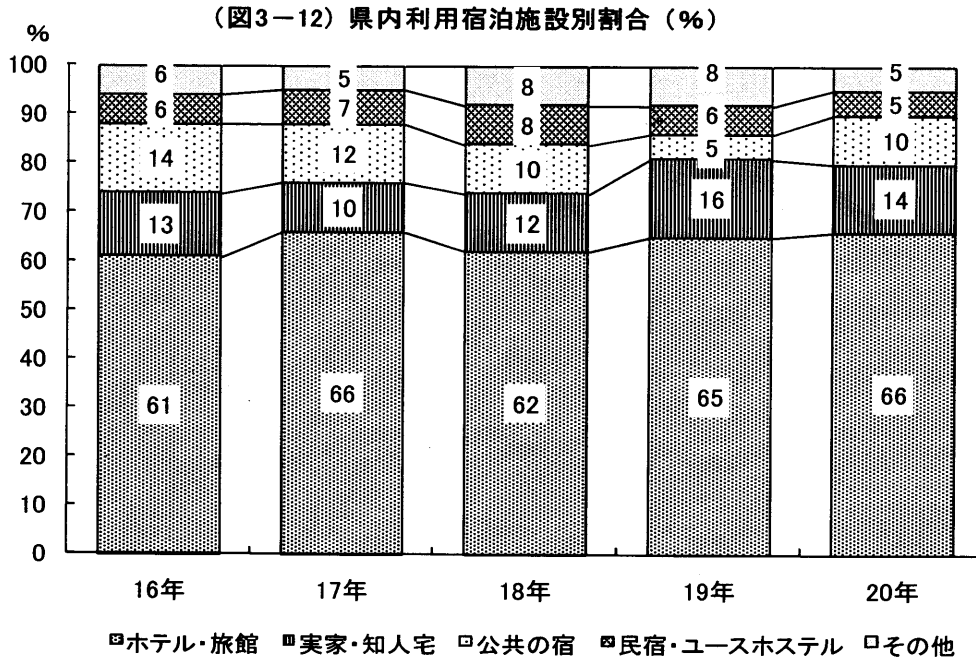
旅行形態		1人	家族	友人知人	団体	その他
年代						
10代	20年	23	26	49	2	0
	19年	25	33	40	2	0
20代	20年	12	24	61	2	1
	19年	12	19	66	2	1
30代	20年	6	75	17	2	0
	19年	9	61	25	4	1
40代	20年	7	84	5	4	0
	19年	5	76	15	3	1
50代	20年	4	83	9	4	0
	19年	7	75	12	5	1
60代以上	20年	2	87	7	3	1
	19年	5	76	11	7	1
全体	20年	7	66	23	3	1
	19年	8	59	28	4	1

(表 3-11) 年代別同行者数 (%)

旅行形態		1人	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
年代						
10代	20年	23	51	20	6	0
	19年	25	44	27	2	2
20代	20年	12	72	14	1	1
	19年	12	67	16	4	1
30代	20年	6	54	34	5	1
	19年	9	56	27	5	3
40代	20年	8	37	45	8	2
	19年	5	45	39	8	3
50代	20年	4	62	23	8	3
	19年	7	61	25	3	4
60代以上	20年	2	68	18	10	2
	19年	6	63	18	6	7
全体	20年	7	58	27	6	2
	19年	8	58	26	5	3

昨年比で見ると、家族旅行が7%増え、知人友人の旅行が5%減っている。家族旅行は近年、著しく増えており（H18：49%、H19：59%、H20：66%）、その反面、友人知人の割合は年々下がっている。（H18：34%、H19：28%、H20：23%）また、友人知人との旅行は10代、20代の比率が高く、それ以後の年代は大きく下がっている。

9 利用宿泊施設



()はH19年

全体的に見ると、公共の宿が増えて、実家・知人宅が下がっている。ホテル・旅館は横ばいだが、圧倒的に利用が多い。公共の宿は、少しでも宿泊費を安くするため利用が増えたと考えられる。

四季別にみると、お正月とお盆休みは実家での宿泊が多く、夏はキャンプなどアウトドアを楽しむグループが目立った。アンケート調査の中で、「高知の自然は素晴らしい」「毎年来ています」と褒め言葉をいただくことも多かった。

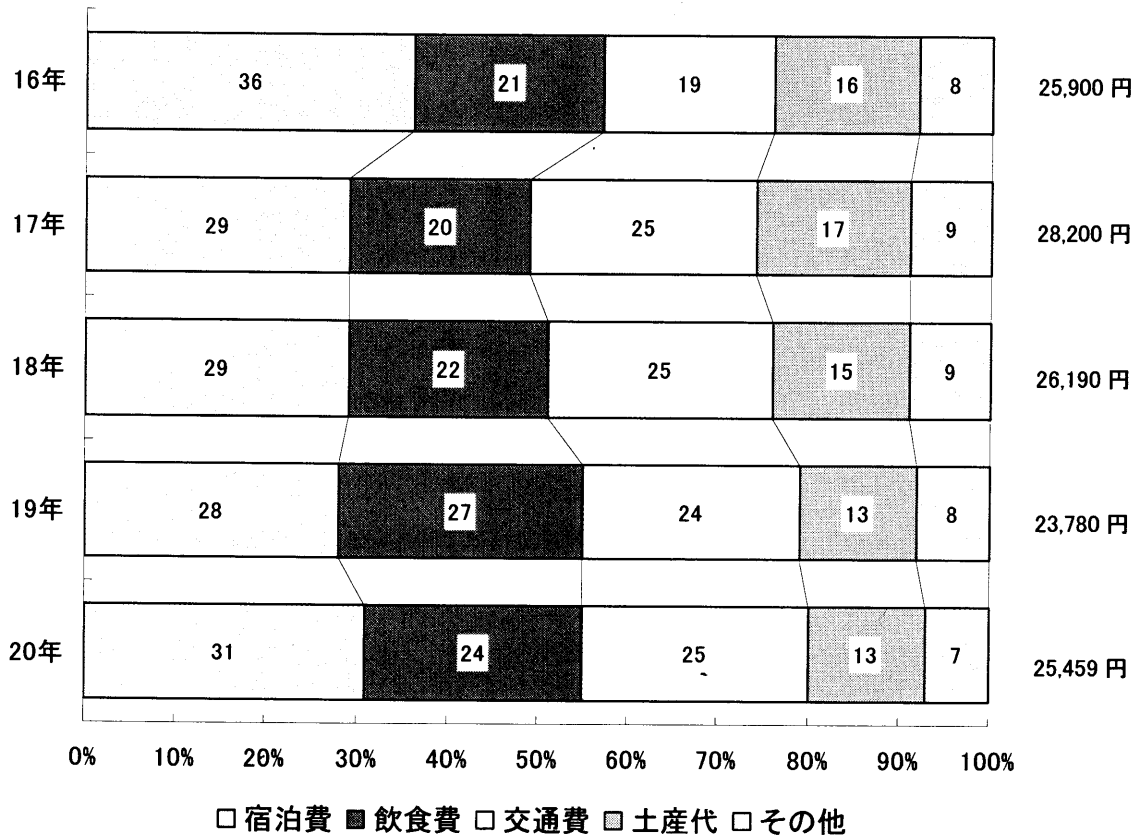
(表 3-14) 年代別県内利用宿泊施設別割合 (%)

年代		宿泊施設					
		ホテル・旅館	公共の宿	キャンプ場	民宿・ユースホステル	実家・知人宅	その他
10 代	20年	69	7	7	7	10	0
	19年	48	9	5	12	21	5
20 代	20年	66	7	2	7	14	4
	19年	58	3	3	9	15	12
30 代	20年	65	10	3	3	16	3
	19年	61	5	4	8	16	6
40 代	20年	58	11	3	5	19	4
	19年	67	5	3	3	18	4
50 代	20年	70	12	1	4	11	2
	19年	68	4	1	5	20	2
60代以上	20年	78	8	0	8	5	1
	19年	73	8	1	6	10	2
全 体	20年	66	10	2	5	14	3
	19年	65	5	2	6	16	6

前年比で見れば、20代から50代まで公共の宿の利用が増えている。特に40代はホテル・旅館の利用が下がった分、公共の宿に流れたと考えられる。10代のキャンプ場は増えたが、10代～30代の民宿・ユースホステルが下がっている。高知市内でも安価なホテルが多くできていることやシングルルームの希望などが原因と考えられる。

10 県内消費額

(図3-15) 県内消費額別割合 (%)



前年比で見れば、県内消費額は平成19年より1,700円弱増加した。項目を見れば宿泊費が増え、飲食費が下がっている。交通費、土産代、その他はほぼ同じである。金額の差は、ホテル・旅館、公共の宿を利用する観光客が増加したためと推測される。

昨年同様、日帰り客、宿泊者とも「高知の食を楽しみたい」という声が寄せられた。カツオのたたきなど海産物、お菓子類の充実に併せて、魅力ある郷土産品の開発、農産物を使った1.5次産品などの開発を検討することにより、土産代が増加し、全体の消費額の増加につながると考えられる。

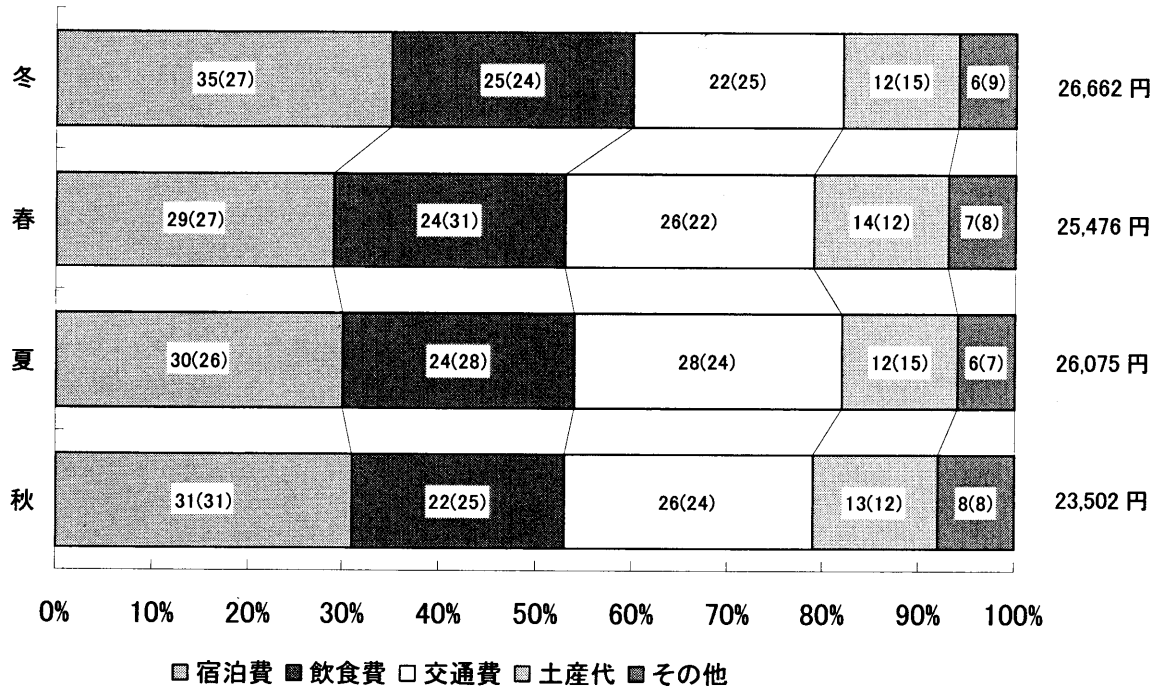
(図 3-16) 年代別県内消費額別割合 (%)

年代		費目					平均金額
		宿泊費	飲食費	交通費	土産	その他	
10 代	20年	23	27	30	14	6	20,521 円
	19年	21	31	30	10	8	21,160 円
20 代	20年	26	28	28	12	6	23,795 円
	19年	26	28	27	11	8	22,790 円
30 代	20年	30	25	25	13	7	23,735 円
	19年	28	28	23	13	8	22,170 円
40 代	20年	32	24	25	13	6	26,275 円
	19年	30	26	22	14	8	23,700 円
50 代	20年	35	21	23	15	6	26,856 円
	19年	26	27	23	16	8	25,170 円
60代以上	20年	38	17	25	13	7	32,053 円
	19年	31	24	23	14	8	27,800 円
全 体	20年	31	24	25	13	7	25,459 円
	19年	28	27	24	13	8	23,780 円

年代別県内消費額を比較すると、20代から60代の平均消費額が増え、10代が下がっている。平均金額は約1,700円上がっているが、さらに上げていくためには、年代別観光客割合で最も割合を占める30代の消費を意識することが大切だと考えられる。

産業振興計画による滞在型・体験型観光を推進し、もう一泊する仕組みづくり、食事場所や土産販売所の情報提供、若い人が興味を持つような土産の開発など、観光消費の拡大を図るため関係者による検討が必要である。

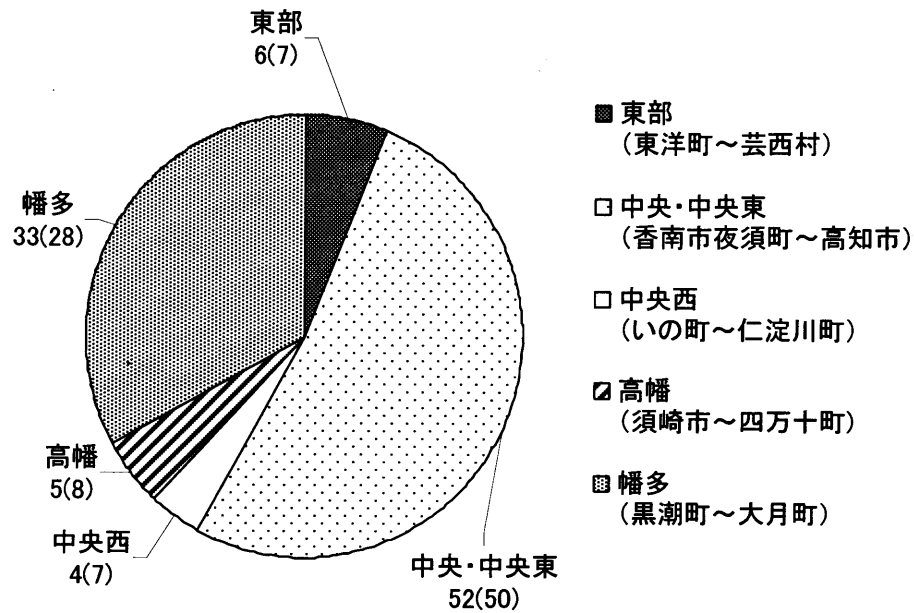
(図3-17) 四季別県内消費額別割合 (%)



四季別で県内消費額割合を比較すると、春シーズンの消費額が 3,500 円程度増えており、それ以外のシーズンも消費金額が増えている。宿泊・飲食・交通費が 8 割程度を占めるので、平成 21 年の高速道路料金の引下げにより交通費が減ると予測される中、宿泊や土産などに消費をシフトしてもらえるような工夫を早急に検討する必要がある。

1.1 県内宿泊地割合

(図3-18) 県内宿泊地割合 (%)



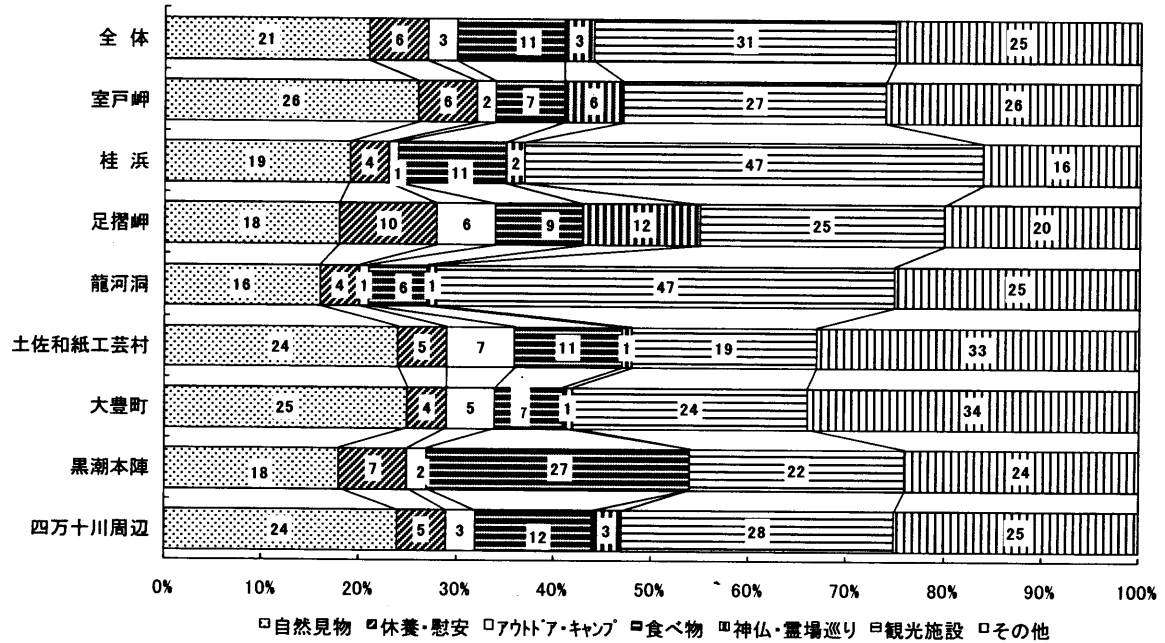
() は H19 年

県内宿泊地の割合は、半数以上の 52% が中央・中央東となった。昨年と比較して 2% 多い。中央・中央東の地域は、高知市、南国市をはじめ、宿泊施設が多く、範囲も広く設定されており、割合が高くなっている。幡多方面も 5% 増加した結果となっている。

1 2 調査地別分析

旅行目的割合

(図3-19) 調査地別旅行目的割合 (%)



旅行目的割合によって、地域の特徴や特性が表れている。

室戸岬、足摺岬：神仏・霊場巡りが多いという数値になった。室戸岬は自然見物も多かった。

龍河洞、桂浜：高知観光のスタートであり、観光施設の割合が高かった。

大豊：自然見物、ドライブが多く、嶺北地区の特徴が出ている。

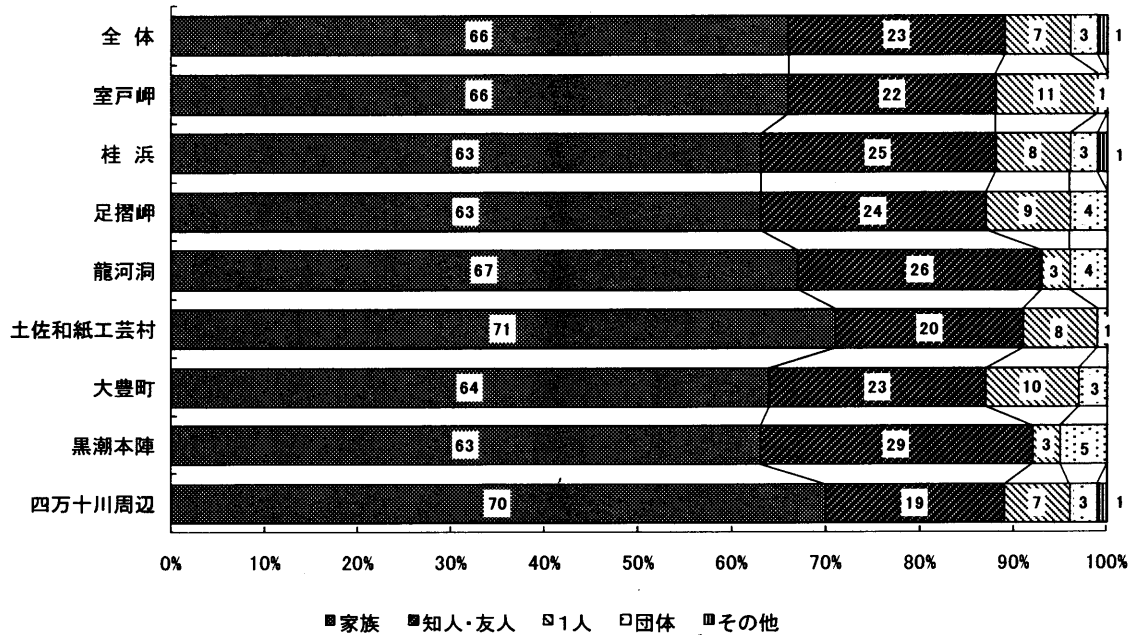
黒潮本陣：食べ物の割合が27%と高く、8つのポイントの中でも突出した数字になっている。

土佐和紙工芸村：夏場、仁淀川でのキャンプやカヌーなどが人気でアウトドア・キャンプの割合が高くなっている。

四万十川周辺：家族旅行は自然見物や食べ物の割合が高く、ツアー客、団体客は観光施設の割合が高いため、平均的な割合になったと考えられる。

旅行形態別割合

(図3-20) 調査地別旅行形態別割合 (%)



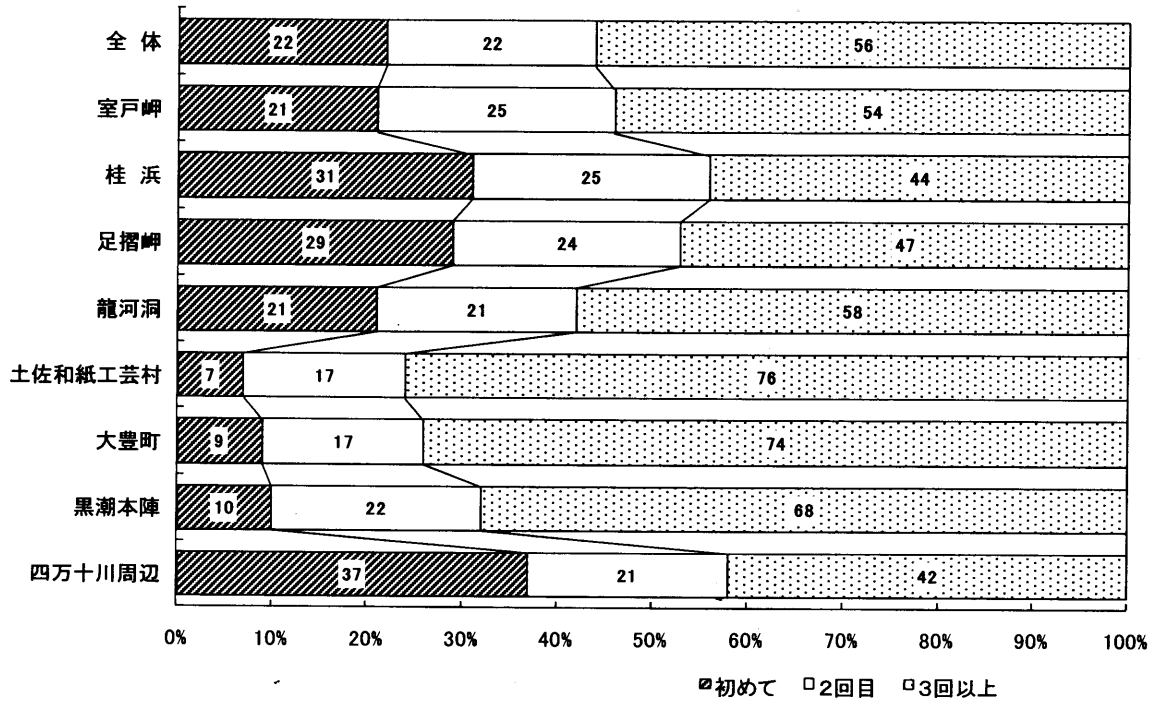
旅行形態別割合を見ると、家族旅行が66% (H19: 59%)、知人友人との旅行が23% (H19: 28%) となっており、トータルで89%と、昨年同様、個人旅行の割合が圧倒的に高い状況となっている。

団体旅行の特徴を見ると、足摺岬や龍河洞は県外の団体がほとんどだが、黒潮本陣は高知県内の団体や四国内の日帰り旅行が多かった。

一人旅が多いのは室戸岬、大豊で、四国八十八ヶ所の遍路旅と、バイク旅行が考えられる。

過去来県回数別割合

(図3-21) 調査地別過去来県回数別割合 (%)

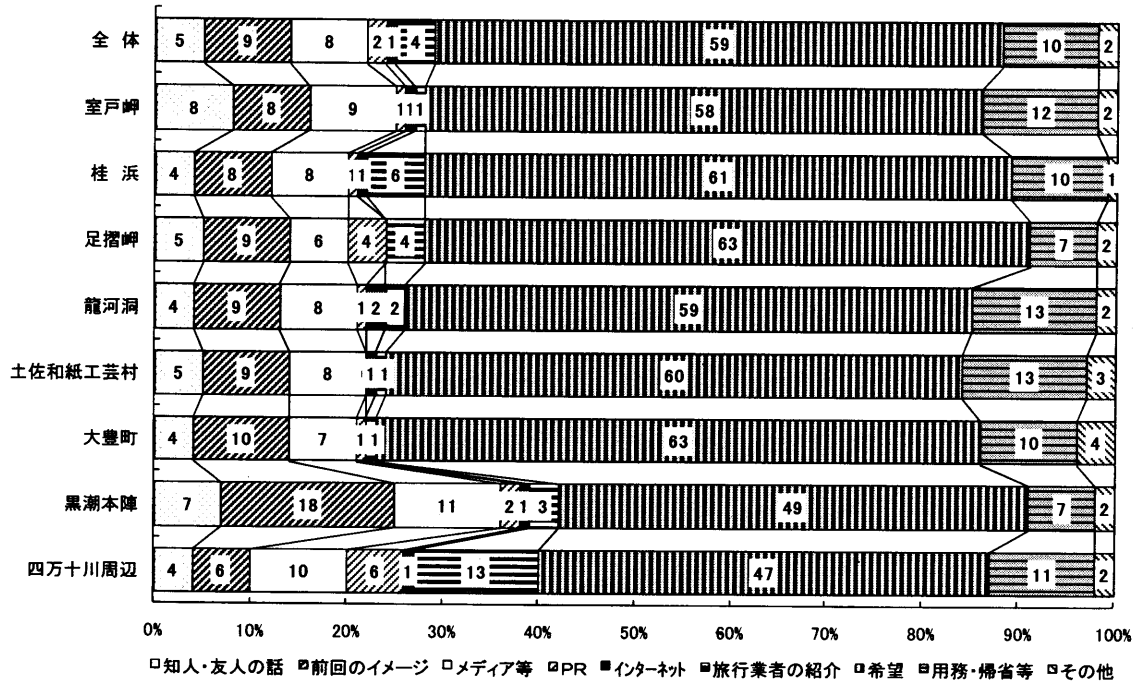


観光客のこれまでの来県回数は、全体として初めて高知へ観光に来た方は22% (H19: 25%)、2回目が22% (H19: 20%)、3回以上が56% (H19: 55%) となって、大きな割合の変化はなかった。

高知観光の入り口となる桂浜や、全国にファンを持つ四万十川、足摺岬が、高知に初めて来た人が訪れる割合が高い。逆に、いの町の土佐和紙工芸村、大豊町 (ゆとりすとパークおおとよ・道の駅大杉)、黒潮本陣などは3回以上のリピーター率が高いのが特徴となっている。

動機別割合

(図3-22) 動機別割合 (%)



動機別割合は全体で「希望」が59%と高い。次いで「用務・帰省等」、「前回のイメージ」、「メディア等」と続いている。

個別に見ていくと、黒潮本陣は「カツオのたたきのおいしさ」や周辺に大正町市場、風工房など周遊できるエリアがあり、「前回のイメージ」の割合が高く、リピーターを呼んでいる。また、メディアの掲載や知人・友人の口コミなど、うまく相乗効果を生んでいるようだ。四万十川周辺では「旅行業者の紹介」が多く、四国を周遊するコースに欠かせない観光素材であると考えられる。帰省後に遊びに行くコースとして龍河洞や土佐和紙工芸村など高知市内近郊や室戸岬があげられた。

【参考】高知県を訪れた観光客の意見

*意見・感想を高知県観光動態調査から一部抜粋 意見の前の記号は、○=評価できる点、△=提案、改善が必要な点、◇=その他 に区分して表示

【土佐人のイメージ】

△○急に車線を変更するなど、運転のマナーが悪い人がいて、怖いし嫌な気分になった。

でも市場で会った人たちはとても親切だし、素敵でした。

○土佐人は豪快でお酒が強いというイメージがあります。ひろめ市場はもう別世界で、異空間。皆がワイワイいっているのが、怒っているのか、と思いますが、これが普通の姿だとおじさんに教えられ、これぞ「土佐に来た」という感じでした。

○観光地などの道を聞いてもすぐに答えてくれるので、人がとても親切だと思いました。

○よさこいのパワーを感じるような、明るい楽しい人がいっぱい。若い人が街に出かけていますね。

【高知県のイメージ】

○黒潮本陣や大正町市場、風工房など、カツオなど魚介類やイチゴ、野菜など地元の素材を上手にPRして販売につなげているので、地域おこしの良い見本だと思います。カツオのたたきは本当においしいです。

○△山、川、海にすぐに行ける高知は、都会からみるとすごく魅力的。それをいかにメディアにのせるセンスがあるか？担当者がいるかが大事ですね。

△中岡慎太郎や坂本龍馬、後藤象二郎の出身地であり、歴史や維新のイメージが強いので、それらにストーリーを作って紹介するとか、皆をつないで関連付けて紹介するなど、歴史や維新をPRすれば面白いと思います。

△関東からは「高知」というより「四国」のイメージが強いし、旅行に来て一県だけの観光よりは周遊すると思うので、四国で連携したイベントを行いPRしたほうがいいのでは。

△「南国土佐」といいながら高知空港も高知駅もそんな雰囲気を感じないのが残念。もう少し演出したほうが良いのでは。

○物部川の上流でキャンプしました。高知の川はほんとうにきれいで、和歌山にはないですね。こんな自然をずっと守ってほしいです。

【 食のイメージ 】

△最近の道の駅はどこもアイスクリームやジュースに力を入れています、もっとケーキなど洋菓子を充実させれば、女性ファンが増えるでしょう。

○足摺で宿泊しましたが、晩御飯はすごいボリュームの料理が並び、感動しました。早く高速道路が西まで延びれば、頻繁に来ることが出来ます。

○生まれて 35 年、黒潮本陣のカツオのたたきが一番美味しかったです。

○高知は普通の居酒屋で食事をしても魚介類や野菜など新鮮で美味しいです。

【 おもてなし 】

○施設や道の清掃はきれいにできているし、ゴミも目立たない。高知県は頑張っていると思います。

△お城（三宝山）が見えたので、それを目指してスカイラインを通ったら休園中でした。それならスカイライン入口に休園中の看板を付ける配慮があつてほしかったです。

△「ようこそ高知！」など歓迎の看板を見かけませんね。観光県なので、あつてほしいです。

○旅館の対応も良く、料理もとてもおいしかったです。とても良いおもてなしをして頂きました。

【 情報／案内板 】

△高知県のイベント情報を毎週 HP で更新して情報発信すれば、四国内から日帰りや一泊で遊びに来ると思います。

△サーフィンをしに生見海岸まで来ました。高知県がサーフィンのポイントが多く有名ですが、ポイントごとにライブカメラを付けて HP で公開すれば、波乗りたちは全国から集まると思います。

△高知の郷土料理店など飲食店情報が関西や岡山などの SA にあれば、とても便利だと思います。また、観光施設から 2km 程度範囲内に手書き MAP 程度の飲食店情報があればいいですね。これまで何度か高知に来ていますが、桂浜や龍河洞の土産物店の食堂には入りたくないです。

△ナビの誘導のせいもありますが、四万十川、佐田の沈下橋まで行くのにかなり細い道を通ってしまい、苦勞しました。沈下橋に憧れを持つ観光客も多いと思いますので、案内看板はできるだけ多く付けてほしいです。

○香川や徳島に比べると、高知の観光案内看板は見やすいです。もっと自信を持ってください。

△国道沿いの観光施設看板は良く目立っていますが、一本道を入ると、その行き先に向かっているのか不安になるぐらい案内板を見かけません。土地勘がない観光客には不親切です。

△観光案内板が信号の直前にしかなく、通り過ぎてUターンすることがありました。もっと手前にひとつ付けてくれたらありがたいです。

【 施設／美化 】

○初めてモネの庭に行きましたが、とても優雅な気持ちにさせてくれる場所で大好きになりました。

△桂浜は歴史を感じる龍馬像や、竜王岬など美しい風景を楽しめますが、大町桂月の歌碑などもあり、案内板がしっかりしていればもっと時間をかけて回れる内容があると思います。

△桂浜のトイレの鍵が壊れていました。また、汚れている便器もあり、主要観光地なのにトイレの管理が出来ないとは驚きました。

△中土佐から中村までの間に、ゆっくり遊べる観光施設（関連性、ドラマ性があれば素敵ですが）があれば、高知一幡多方面が楽しくなるし、観光客も一泊増えるかもしれません。

○△南国の暑さは堪えますが、海はすごくきれいだしダイビング施設がもっとあるといいですね。海の体験、素晴らしさを高知から伝えてほしいです。

△よく高知県内にドライブに来ますが、公衆トイレは和洋を問いませんが、水洗トイレにしてほしいです。

○△バイクで高知を走る分にはとても良いコースです。海はきれいだし信号も少ない。大豊へ行くと山道も多い。ただ、道の駅や観光施設などバイク専用の駐輪場が用意されていたらもっと良いですね。

△高知市内に大きい駐車場がなく、戸惑う場合があります。また、繁華街でも雑草が生えていたり、手入れ不足を感じます。

△新しいバスターミナルは使われているのだろうか？高知市内は緑が少なく、もっと環境運動をすすめてほしいです。

【 交通事情 】

△香川から室戸や安芸に日帰りで良く遊びに来ますが、夜須はいつも自然渋滞しているので、対応してほしいですね。

△須崎 IC を降りてから足摺岬まで3時間以上かかり、さすがに運転は疲れしました。もっと西へ高速道路が延びれば、と思います。

△高知空港からレンタカーを借りて高知を回っていますが、空港からすぐ高速道路へアクセスできれば「観光客を大事にしているな」と思いますね。

○10年ぶりに高知へ来ましたが、とても道路が整備されていて走りやすかったです。

△国道55号はもう少し追い越し車線を作ってほしい。前の車がゆっくりだと、それに付られて渋滞になります。

○想像していた以上にバスの便がアクセスされていて、公共交通機関でも十分楽しめることがわかりました。

△京阪神から岡山経由、乗り換えなしの特急「南風」があれば、きっと利用が増えると思います。乗り換えがめんどくさい人が多い。

△高速料金、特に瀬戸大橋代が高いので、安くなればもっと高知に人が来ると思います。県として、下げる努力をしてほしいです。

△ごめん・なはり線に乗ってきましたが、室戸までのバスの便や甲浦までのバスの便が少ないですね。もう少し充実していたら旅行しやすいです。

【 その他 】

○テレビドラマ「歌姫」を見て、土佐清水市や四万十川に来ました。このドラマで東京では高知ファンが増えたと思います。

△ペット同伴でも大丈夫な宿泊施設や飲食店などのリスト、情報があれば嬉しい。ペットと離れられない旅行者は多いし、一緒に旅行したいと思っている。高知は自然が豊富なので、希望する人は多いと思う。

△高知の自然はとても豊かだし、天気の良い日は家族でドライブや山登りをしに来ますが、雨の日はどこへ行けばいいか、まったく情報がないです。雨の日でも半日は遊べる場所があれば、安心して高知旅行を計画できます。

◇地元の山口新聞の記事で「大豊で砂金が取れる」という内容が載ったので、その場所を探しに高知へ来ました。

◇四万十町と四万十市の区別がつかなくて、しばらく戸惑いました。どうしてこんなにややこしい町名にするのか、と思います。

◇四国八十八か所めぐりを、若い人たちが歩き遍路でしているのに驚きました。自分もいつかチャレンジしたいと思います。

◇ガソリン代は高知市内より田舎に行けば行くほど高い気がします。なんとかならないものでしょうか。

○△田舎独特の素朴な文化や素材は感じますが、アクセスは不便ですね。

○△こんなに美しい海の風景を見たことはありません。室戸～甲浦間の絶景ポイントに駐車スペースを作ってほしいです。

高知県観光客アンケート調査票

今回の旅行に関するアンケートにご協力ください。
高知県観光行政の参考にさせていただきます。(高知県観光振興課)

1. 整理番号	2. 調査時期	3. 調査地	4. 調査日
0100～室戸岬 0200～桂浜 0300～足摺岬	年及び季節別 1冬 3夏 2春 4秋	01 室戸岬 02 桂浜 03 足摺岬	1 平日
0500～龍河洞 0600～土佐和紙工芸村		05 龍河洞 06 土佐和紙工芸村	2 土曜日
0700～ゆとりすとパーク 0900～黒潮本陣		07 ゆとりすとパーク 09 黒潮本陣	3 休日
1000～四万十川観光遊覧船乗場		10 四万十川観光遊覧船乗場	

質問内容	回答欄				
	※ 5桁コードを記入				
問1. あなたのお住まい(居住地)について教えてください。 1. 高知県内 →市町村名を具体的に[] 2. 高知県外 →都道府県名を具体的に[] ↓ 【限定質問】 高知県を訪れるのははじめてですか。 1. はじめて 2. 2回め 3. 3回以上					
問2. あなたご自身のことについて教えてください。 1. 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上 2. 性別 1. 男 2. 女					
問3. 今回のご旅行の同行者の人数を教えてください。 1. 1人 2. 2～3人 3. 4～5人 4. 6～10人 5. 11人以上 ↓ 【限定質問】 具体的には、どなたと一緒ですか。 1. 家族 2. 友人・知人・恋人 3. 団体(職場・学校・サークル、地域団体等) 4. その他()					
問4. 今回のご旅行のきっかけを教えてください。 1. 知人・友人の話 2. 前回のイメージ 3. 宣伝(TV・ラジオ・雑誌等) 4. PR(パンフレット・キャンペーン等) 5. インターネット(携帯電話含む) 6. 旅行業者紹介・ツアー参加 7. 来たかった・家族の希望 8. 帰省・仕事等 9. その他					
問5. 今回のご旅行の主な目的を1つ教えてください。 01. 自然見物・町歩き 02. 休養・慰安 03. 祭り・イベント 04. 登山・アウトドア・キャンプ 05. スポーツ(プロ野球キャンプ・観戦など) 06. 食べ物(味覚・酒) 07. 神仏・霊場巡り 08. 買い物 09. 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽 10. なんとなく(ドライブ等含む) 11. 帰省・仕事 12. その他()					
問6. 今回のご旅行の企画・手配について教えてください。 1. 自分で旅行プランを立てて、宿泊・交通機関なども自分で手配した 2. 旅行プランを決めて、宿泊や高知への往復には旅行代理店のフリープランを使っている 3. 旅行代理店でコースが決められている添乗員付きの旅行プランを使っている					
問7. 今回のご旅行で利用する主な交通手段について教えてください。 (1)高知県までの移動手段(県外の方のみ) 01. 鉄道 02. 高速バス(路線バス含む) 03. 定期観光バス 04. 貸切バス 05. 自家用車 06. レンタカー 07. 飛行機 08. フェリー 09. バイク 10. その他(自転車・徒歩等)					
(2)高知県内での主な移動手段 01. 鉄道 02. 路線バス 03. 定期観光バス(My遊バス等含む) 04. 貸切バス 05. 路面電車 06. 自家用車 07. レンタカー 08. タクシー・ハイヤー 09. バイク 10. その他(自転車・徒歩等)					

裏面へ

問8. 今回の旅行の日程(予定を含む)について教えてください。

1. 日帰り 2. 1泊2日 3. 2泊3日 4. 3泊4日 5. 4泊5日 6. 5泊以上

全旅行日数 ()

【限定質問】
高知県内での宿泊
宿泊場所(市町村)別、宿泊施設の種類の別
に宿泊数を教えてください

宿泊場所(市町村)	宿泊数	宿泊施設種類	宿泊数
1 東部地域 (東洋町～芸西村)		1 ホテル・旅館	
2 中央・中央東地域 (香南市～高知市)		2 公共の宿	
3 中央西地域 (いの町～仁淀川町)		3 キャンプ場	
4 高幡地域 (須崎市～四万十町)		4 民宿・ユースホステル ライダーズイン	
5 幡多地域 (黒潮町～大月町)		5 実家・知人宅	
※ 地域は問9の選択肢を参考にしてください		6 その他(テント・車中泊等)	

問9. 今回の旅行で訪れる主な観光地について教えてください。

高知県に入ってから当地に来るまでに訪れた(または、これから訪れる予定の)主な観光地・施設について
訪れた順番に教えてください。

			選択肢コード
1	6	11	1
2	7	12	2
3	8	13	3
4	9	14	4
5	10	15	5
			6
			7
			8
			9
			10
			11
			12
			13
			14
			15

東部地域			中央・中央東地域				中央西地域			高幡地域		幡多地域			
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
東洋町・室戸市	村野半利村 野馬路 安田川	奈安町 利安村 芸西村	香南市	香南 美市	大町 山田 佐大 豊	高知市	いの町	土佐市 日高	佐川町 仁淀川 越知	中土佐町	須崎 津野	四万十町	黒潮 十市	宿毛市 三原	土佐清水市

問10. 今回の旅行にかかっている一人あたりの費用について教えてください。

1 県内にお住まいの方

総予算で 円くらい

(内訳)	十万	万	千	百
1 宿泊費				
2 飲食費				
3 交通費				
4 土産代				
5 その他(入場料など)				

2 旅行代理店の旅行パックを利用している場合

	十万	万	千	百
1 旅行代金1人あたり				
2 土産物、飲食など 「1」の旅行代金以外				

3 県外にお住まいの方

総予算で 円くらい

(うち高知県内 円)

(内訳)	十万	万	千	百
1 宿泊費				
2 飲食費				
3 交通費				
4 土産代				
5 その他(入場料など)				

問11. ご意見・ご感想 (他県と比べて良い点、悪い点等もお聞かせください)

※冬季は「この季節に高知へ来られた主な理由、高知の魅力など(冬季観光対策の参考意見として)」をお聞かせください。

※ご意見をお聞かせください。 該当に○をしてください

1 交通機関の対応 1非常に対応がよい 2まあ対応がよい 3普通 4やや対応が悪い 5非常に対応が悪い ※タクシー・バス・電車・汽車・その他

2 旅館ホテルの対応 1非常に対応がよい 2まあ対応がよい 3普通 4やや対応が悪い 5非常に対応が悪い

3 観光案内板・誘導板について 1非常にわかりやすい 2まあわかりやすい 3普通 4ややわかりにくい 5非常にわかりにくい

4 トイレについて 1非常にきれいであった 2まあきれいであった 3普通 4やや汚い 5非常に汚い

5 美化・景観について 1非常にきれいであった 2まあきれいであった 3普通 4ややごみが多い 5ごみが多く景観が悪い